



Nepal Blind Support Association

ネパールの視覚障害者を支える会(NBSA)会報

第 30 号 2011 年 5 月

主内容：飛んで行け！ネパールの千羽鶴/災害のお見舞い/活動報告/ネパールよもやま/ネパールの詩/フェアトレードショップからのお知らせと事務局便り NBSA 総会のお誘

NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

Japan Aid Action in Nepal

飛んで行け！ネパールの千羽鶴

去る 3 月 23 日当地の大学と街頭で『私たちの愛を日本に届けよう』と云うイベントを行った際の写真をお送りします。これらの千羽鶴はほとんどネパールの現地新聞紙で作りました。また、同時に募金も行い 7,205 ルピーが集まり、赤十字を通して募金しました。現在こちらの千羽鶴は岩手県陸前高田市へ 7 月頃に差し上げる予定です。



このイベントは日本人、ネパール人が一緒になって被災地の復興、被災者の心を少しでも和らげられる事を願って行ったものです。また、ネパールにも地震が起きた時、どうすればいいのかを教えるのも目的で、鶴を作って下さった方々には地震時の防災について書かれたチラシを無料配布しました。ネパール人の皆さんからたくさんのお見舞いの言葉を頂きましたが、どうやら実感が無いのでは、と千羽鶴を折りながら感じました。

地震が起きた時、ネパールにいて何も出来ない自分にもどかしく感じこのイベントを開催しました。

大勢の在ネパール日本人、カトマンドゥ市民が手伝ってくれました。被災されたか方がの心を 1 ミリでも癒せたらいいな、と今でも心から願っています。被災地の方々、どうぞお元気で。

〔長谷川 茉莉菜〕 ネパール在住



災害のお見舞い 現地 NBSA 会長 プララダ・タパ

先に、会員の皆様にネパールの絵葉書を送りましたが会報でも、お見舞い申し上げます。
NBSA をご支援下さりいつもありがとうございます。この度は 21 世紀の人類が遭遇した最も悲惨な災害が、我が敬愛する日本の方々に見まわれたことに心を痛めなかったネパール人はいなかったと思われまふ。聞くところによると地球上の 100 以上の国々が、日本の災害に力を貸したとのこと。それは日本が常に中立を守り、世界中のどの国にも博愛の精神を持って外交を営んできた証であると私は確信しております。ご家族や親しき人々を失った方々に、世界中の神々の自愛が届きますよう、心からお祈り申し上げます。2011 年 5 月 カトマンドゥにて。

事務所移転のお知らせ おかげさまで快適な作業環境になりました
ネットニュースをお読みの皆さんには 3 月と 4 月号でお知らせしましたが、以前よりバス停にぐっと近いところに NBSA 事務所を移しました。新事務所のオープニングデーには、取り立てて催しをするつもりはなかったのですが、興味深々の若い人や学生が 14 人も押しかけ大家さんを驚かせました。実のところ、以前のところはどちらかと言えば大家に煙たがられていたのですが、今回の大家さんはかなり協力的な感じです。また、水と電気の問題も家屋の設備以前よりよいのも大きなメリット。ネパールにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

開館日は以前と変わらず月曜 水曜 土曜日
開館時間も以前と変わらず 正午から午後 4 時まで
新住所 カトマンドゥ市内 マハラジ ガンジ
電話番号 444 6234
日本からかける場合は 前に 977 - 1 - をつけてください

現地活動報告

2月 点字の情報誌タッチ

2010 年度は機械の故障で長らく休刊していましたが、少しでも作成目標に近づくように努力しています。これまでタッチの内容は、どちらかと言うと行政の広報や障がい者の活動のようなものを中心に編集してきました。カトマンドゥに住む読者は情報を独自にキャッチできるので、NBSA のタッチは内容がつまらないし情報も古い、とこれまで言われていました。こちらの趣旨は地方に住む人々にも情報をシェアすることなのですが、今回から内容を若干変え海外の情報も取り混ぜ、また学生にも読んでもらいたいのので、英語の記事も載せることにしました。なんと言ってもこうした情報誌がネパール全体でたったひとつしかないのです。現地会長のプララダ・タパは「読者全員のニーズに合わせるのは無理。批判されても現状を維持する」との見解です。

3月 定例活動のカセットテープライブラリー事業、トーキングブックの作成。

こちらは電気を逐電しながら今のところは何とかやっています。一番新しいパソコンは電気がなくても 5 時間使用可能。ちょっと古いのは 2 時間。出来るだけこの 2 台を録音につかい、デスクトップは編集と情報誌の点字プリンターに回しています。

でも充電時間が 10 時間以上とかなり厳しい。そこで音声訳する本がかなり制限されてきます。大学の教科書が中心になってしまい、小説などが好きな一般の読者にちょっと不評をかっています。

4月 定例活動のカセットテープライブラリー事業とトーキングブックの作成。

1 日から事務所を移転し、まず始めに行ったのはレコーディングルームの整備。接続など、ネパールでは結構大変な作業ですが同日すべて終了。これまでと同時にスムーズに朗読や編集を開始しました。

長崎の学生 NGO ボート頑張る！！ 本当にありがとう



度々お知らせしてきました長崎大学の学生 NGO 団体 BOAT の方々の善意がネパールに届きました。2010年9月21日から30日の10日間、夏季休暇を利用してネパールでスタディーツアーを行った学生5名の方々がカトマンドゥウのナムナ・マチンドラ盲学級に点字印刷機購入の代金が届けられました。この盲学級にはコンピューターは点字用のコンピューターはありますが、印刷機がない。当然のことながらメイド・イン・ネパールは無い。点字は書物、印刷された物を読むもの。これでは宝のもちぐされ、とブッダ先生（写真左）が嘆いている声長崎大の学生さんたちが拾ってくれたのです。学生さんたちはカトマンドゥウ滞在中に、多量のネパール製カレンダーを購入し日本で販売するなどして資金を集めてくれました。そして、何より嬉しかったのは3月の災害直後に関わらず BOAT の皆さんが速やかに送金をしてくれたプリンターの代金を、千葉県の上岡さんと猪俣さんが約束をたがえずにネパールまで運んでくれたことです。

写真上左：3月18日 カトマンドゥウ到着直後にナムナマチンドラ学校へ直行した上岡さん（写真中央）左はブッダ先生、左2番目がプリンター代金を受け取る学校長右の写真はナムナマチンドラ学校。壁に子供達が描いた学校とネパールの風景が見えます。可愛い。

左下の写真は NGO 団体ボートの学生さん。ブッダ先生と歩行訓練を体験してもらっています。

（2010年9月撮影）



NBSA カトマンドゥウからのお願い

どなたかラップトップを寄贈していただけませんか？

会報やネットニュースでほぼ毎回水不足と電力不足の状態をお知らせしていますが、これから雨季に入ると計画停電が毎日16時間続くことが懸念されます。水の方は何とか井戸水などで個人的には我慢できますが、電力の不足は私たちの事業に大打撃を与えます。昨年購入したインバーター、小型の蓄電器ではデスクトップのコンピューター2台をフルに使うと3時間と持ちません。何とかだまし、だまし点字印刷とトーキングブックの音読を交互に使っていますが、あまりにロスタイムが多く、ボランティアさんも根をあげています。

その解決策として、今後コンピューター操作の仕事はラップトップを中心に使うことです。

昨年寄贈していただいたラップトップは蓄電能力が高く5時間使えます。皆様方でご不要になりましたラップトップを寄贈していただけませんか？蓄電能力が高いものであれば、旧式のものでもかまいません。可能な限りバッテリーを探してネパールで使えるようにしようと思っています。ご見当のほど、どうかよろしく願いいたします。

渥美 よりこ（カトマンドゥ在住）nbsa@mail.com.np

日本でのお問い合わせはNBSA日本の事務局 千葉県の視障センターちば内
center@rc-aikoh.or.jpへお願いします。

ひっそり逝った 偉大な政治家

2011年3月6日 カトマンドゥにある世界遺産ヒンズー教の聖地 パシユパティナートはマリーゴールドの花と人々の涙で埋まった。ネパールの高名な政治家クリシュナ・プラサド・バタライの死を悼む者は、近い親族のみならずネパールの民主化闘争時代を生きぬいた名も無き民草も大勢参列した。

政府はネパール民主化の闘士の死を悼み、葬儀の6日を急遽国民の休日にし喪に服した。

軍隊による敬意の大砲13発がとどろく中、ヒンズー教の伝統に従って甥

のプラマンドがプラサド・バタライ遺体に火をつけた。なぜ息子や孫でなく甥だったのか。この民主主義のリーダーは生涯独身を通した為だった。



今年3月のネットニュースで紹介した記事を掲載いたします。

時のネパール

清貧の政治家死す

3月4日元ネパールの首相クリシュナ・プラサド・バタライが首都カトマンズ市内の病院で、多臓器不全で死去。86歳であった。ネパール国民会議派の創立メンバーの一人で、国王親政を行っていた当時ビレンドラ国王に複数政党制を受け入れさせた1990年の民主化運動で主導的役割を果たした。90年から91年と99年から2000年の2回 首相を務めた。ネパールの主要新聞は元首相の死去を第一面に掲載しその死を悼んだ。彼は清貧の政治家として名高く酒はいっさい口にせず、財産と名のつくものは1本の傘とこうり（行李）だけで生涯独身を通し私生活においては孤独な政治家として知られていた。

また、ネパールの論評家として有名な長崎大の谷川教授は独自のウェブサイト「ネパール論評」でこう書いている。

3月4日、クリシュナ・プラサド・バタライ氏が亡くなった。87歳。ガネッシュマン・シン、ギリジャ・コイララとともに、長年にわたり कांग्रेस三頭政治の一角を占めてきた。これで、王政復古(1950/51)第一世代を代表する政治家はいなくなった。KP・バタライ氏の死去は、奇しくもUML=マオイスト連立政権発足の当日である。偶然の一致ではあろうが、そうとは思えないほど象徴的だ。これで、王政復古時代は完全に終わり、ネパールは新しい時代に入ったのであると。



ブライアン アダムスってご存知？

昔は超ハンサム。今はすっかりおっさん（50代）。カトマンドゥを沸かせに沸かせた70年代ロックの王者。2011年2月20日ライブ・イン・ネパール。スポンサーは大手のウイスキー・メーカー。入場料は前代未聞に高かったそう。でも会場は湧きに湧きまくったと翌日の新聞に書いてありました。ところで、この写真バックグラウンドが面白い。

前面にバイク（小金持ちのステータスグッズ）その後ろに手ぬぐいが干してある。左の小さな店には山済みのトイレトペーパー（こちらでは食卓用ナプキンとして使用）。ブライアンの後ろにはむき出しの電線がぶら下がっている。ううう～怖っわ～。

新ネパール語の基礎

ボリ。ネパール語で明日と言うのをボリと言います。明日と言うのは今日の次の日と思っていたが、ネパールではどうやら24時間後と言う意味ではなさそうです。例近くの雑貨屋での会話。「おじさん 洗濯洗剤ある？」と聞くと、おじさんはボリ、明日来るよと言う。翌日おじさんの店に行ってみても洗剤はない。おじさんはけるりと、ボリ、ボリを2回繰り返えす。ボリ、ボリが2回続くと、ああこれは当分無理だなあと思ったほうがよいだろう。

ケ・ガルネ これは何を？と言うのが語源。でもたいていの場合、「どうにもならない」と解したほうがよいだろう。これは日本語に近いかな？切羽詰れば日本人も「どうすりゃいいんだ！」ということになる。

ハッテリカ！
これは英語だと「ワット・ハッポン」に近い。一体どうした！！
このハッテロカ！を使うときは必ずゼスチャーが伴う。左手もしくは右手の平を他の手でパンとはじいて逆さに返す。ネパール人は日本人よりかなり多くゼスチャーを使う。ユーモア感覚は日本人よりかなり高度。ゼスチャーをまじえて会話に弾みをつけるのは、なんだかカッコいい。

憂鬱



わびしくて つまらない
なにもかも
大地はどっぴりと灰色に浸されているようだ
どこもかしこも
陰気で物悲しく、弱々しく無気力……
もううんざりだ 飽き飽きした
言葉にすえばそんな感じだ
どんよりとうとうしく 命のしるしは何も
ない
心の鼓動はどこにも聞こえず
大地は密閉した箱のように

ぴったりと空に包み込まれている
時も空間もまるで死んでいて
聞こえるのはただカラスの鳴き声
外の世界のこのありさまは
きっとこの私自身を 写しだしているにちがいない

1968

尼僧の話

私の心の このありさまを
言葉にしたいはありませんから
あゝ 神さま
危うい私の足取りに どうか命じてくださいな
あなたへ向かう道を まっすぐに進むようにと

蟻のように私の体を這い回っている
このむず痒さに お訊ねになれば
あなたはきっとお解りでしょう
空を持ち上げるほど強い私なのに
この衣がどうしてもこんなに重いのが

さあ どうか、
私のぐらつく自制心に命じてくださいな
あなたに説明するようにと
高潔な八重の道にもかかわらず
私の頑固なこの要塞に
風はどうやって入り込んだのかを

あなたのご慈愛の中に あなたをさがし求めているのに
ああ 神様 どうして他の誰かを見つけてしまうのでしょうか
ご覧くださいな
私の目のまわりを泡だらけにしているこの強い酒を
それが答えとなりますでしょう

1971



The Meditation 瞑想ってなんだ？

2011 当年 20 歳 スジャン君の瞑想学体験記

私が体験した YES の瞑想コースを日本の皆さんにお伝えでき光栄に思います。このコースは 13~30 歳までのヤングが対象。ちなみに私は 20 歳です。はこれまで世界の 150 力国で行なってきました。YES の本義と主題は基本的にふたつにわかれます。



第 1・異なるゲームを基礎に学習環境が作られ、私たちの生活環境を理解し将来を暗示する。

第 2・瞑想を通じて集中力を強化する。

瞑想技術は Sudarshankriya、Pranayam、Vastrika という 3 つの段階があり、コースの間に学び、さらに各自の異なった生活環境について討議をする。

次に私はこの瞑想コースから何を学んだかを書きます。

第 1 日目：参加者の学生及び教師の自己紹介を、これまでとはまったく違った方法で行いました。それは自分の周りの人々にどのように自己を表現するかを学ぶものです。同時に、教師はこのコースの規則、呼吸方法、聖歌について説明をしました。初日の終わりに先生は宿題を出しました。それは「いかなるネットワークやウェブサイトを使わずに、新しい友達を 3 人作る」という課題でした。

第 2 日目：まずシュリア（太陽）に向かってナマスカーと挨拶すること。及びに体操。その後私たちは、Sudarshan Kriya と呼ばれる有名な瞑想を始めました。OM オムとはヒンズー教の最も有名な 3 つの音です。私たちの肢体はこの音に共鳴しています。同様に第 2 の音は私たちの内臓、肺および心臓に直結します。この音は治癒、メンテナンスのエネルギーとして知られています。オムの第三の音は頭脳に関係していて、



この音は生成と破壊のエネルギーとして知られています。教師は、それらの 3 つのタイプのエネルギーと人間への関連について説明しました。

第 3 日目：私たちは親と子どもの関係について議論しました。先生は、親子間のコミュニケーション・ギャップによる矛盾について話しました。

第 4 日目：Sudarshankriya 先生の短

縮授業。（意味不明？）

第 5 日目：瞑想訓練後、親子の関係について先生の実体験を交えて話し合いました。私たちの人生の重要な部分、親を納得させるコツを伝授されました。さらに、夫婦、もしくはガールフレンド・ボーイフレンドとの関係を、どのように維持するかについて知りました。

第 6 日目（最終日）：我々は実体験を通して感じた楽しい思い出を紙皿に書き、お互いに交換し合い友情を確かめ合いました。

（う～ん、数十年前日本でも聞いたことのあるお話だけど…。ちょっと怖いな（渥美）



千葉のフェアトレードショップからのお知らせ

面白くてなんだか楽しいネパールグッズ
岩塩や紅茶に人気集中

NBSA では、千葉県柏市の視覚障がい者を中心とする障害者サポート小規模作業所ポコアポコに、ネパールの民芸品やおしゃれグッズの販売をお願いしています。ポコアポコのスタッフはすご～く

協力的。季節や流行に合わせたネパール製品を作業所内ばかりでなく、バザーなどでも積極的に販売してくれます。ポコアポコは本当に NBSA の心強い助っ人。ネパール特産のパシュミナのストールやマフラーも置いています。また定番のネパール紅茶や、ヒマラヤの岩塩も人気者。収益は NBSA に還元されます。たくさん買ってください。ご協力のほどお願いします。

住所：千葉県柏市 松葉町 6 - 8 - 1

問い合わせ：ポコアポコ作業所 (電) 04-7136-0505

事務局より

深緑の候、夏の訪れを予感させられる今日この頃ですが、会員の皆様、支援者の皆様、過ごしてはいかがでしょうか。

東日本大震災から2ヶ月余、被災地からは大きな悲しみに耐えながら懸命に立ち上がろうと努力する人々の姿や、それを支える多くのボランティアの活動の様子が映像を通じて伝えられてきます。そこには「人間の真の力強さ」を感じます。一方で、原発事故については関係者の懸命な努力にもかかわらず刻一刻と状況が変化し、見通しの持てない戦いへの不安が広がっています。

そんな中であって何とも嬉しいことは海外から日本に寄せられる支援です。義捐金や支援物資の総額は過去、世界最高と聞きます。先進国のみならず途上国からも多くの支援やエールが送られています。途上国の人々にとっては自分の生活さえもままならないのに、経済大国の日本にまでエールを送ってくださる。「人間の真の暖かさ」を感じ、感謝の限りです。そうした背景には、どんな困難にもめげず、ひたむきに努力する「日本人のまじめな気質」に対する敬意とこれまで政府の行ってきた海外支援への感謝も含まれているのかもしれませんが、今こそ私たちは、戦後復興を遂げた日本人の英知を信じ世界の人々の期待に恥じない営みをしなければならないと痛感する次第です。

幸い NBSA の関係者からは大きな被害を受けられたような情報は入っていません。事務局としても安堵しているところです。そこで、来る5月28日(土)の午後に、千葉県四街道市の事務所で今年度の総会を行うこととしました。会員はもちろん、多くの支援者の方々の参加をお待ちしています。詳細は事務局の川崎(043-424-2501)までお問い合わせください。

これまでも渥美会長を通じて NBSA 現地役員からの暖かな励ましのエールが寄せられています。彼らにどのような恩返しができるのか、総会において新たな事業計画の検討ができればと考えています。是非、皆様の一層の支援をお願いする次第です。

(NBSA 日本事務局 高梨 記)

ネットニュースのご紹介

月1回配信の NBSA ネットニュースはネパール現地の活動報告のほか、ネパール関連の様々なニュースを掲載しています。特に「時のネパール」はネパールの政情を掲載し渡航状況を知る上で便利。

ホームページ NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

ネットニュース毎月の配信をご希望の方は直接カトマンドゥ事務所にインターネットでお申し込みください。 NBSA@mail.com.np 又は yorikonepal@hotmail.com

Nepal Blind Support Association (NBSA)

P.O.Box:8974 PCN-111 Katmandu Nepal Tel:977-444-6234

E-mail: yorikonepal@hotmail.com。または NBSA@mail.com.np

日本の事務局:

〒284-0005 千葉県四街道市四街道 1-9-3 視覚障がい者総合支援センターちば内 NBSA

電話:043-424-2501 Fax:043-424-2486 事務局担当者 高梨 憲司

NBSA HP:<http://NBSA.sakura.ne.jp/>

維持会費：個人会員年間 6,000 円/協力会員年間 3,000 円/法人会員年間 15,000 円

振込先：口座記号番号 00190-7-762775 (ネパールの視覚障害者を支える会)